



5年目を迎えるにあたって 外科からのご挨拶とご報告

2009年4月に当院外科に着任してから、この2013年4月より5年目を迎えることになりました。まだまだ地域の皆様、地域連携の医療従事者の方々のご期待通りに応えきれていないことも多いかと思いますが、引き続き努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

外科部長 久保田太輔

2012年度 手術実績

2012年4月1日から2013年3月31日までの1年間に、全身麻酔、硬膜外麻酔（または腰椎麻酔）を中心に210件の手術を行い、はじめて外科で200件を越えました。

これまで手術件数は年々、増加していますが、手術内容は

- (1) 鼠径ヘルニア手術 57件
- (2) 胆嚢結石症手術 33件
- (3) 急性虫垂炎手術 22件

これら(1)～(3)で全手術症例の半数をしめている事は昨年同様、ほぼ変わりありませんでした。

悪性疾患に対する手術は21件で、多かったのは、胃癌6件、大腸癌3件でした。進行癌であっても手術は肝切除や膵臓、脾臓の合併切除を併せ行ったりすることにより根治を可及的に目指しています。

ただ、それでも手術後、これら悪性疾患に対しては、ヘルニアや胆石などの良性疾患とは異なり、手術にとどまらず集学的治療を要することが多く、術後に抗癌化学療法を行いやすくするためのCVポート造設なども行いながら1人1人に状況に応じた最も望ましいと思われる治療を最後まで丁寧に行っていくようにしています。